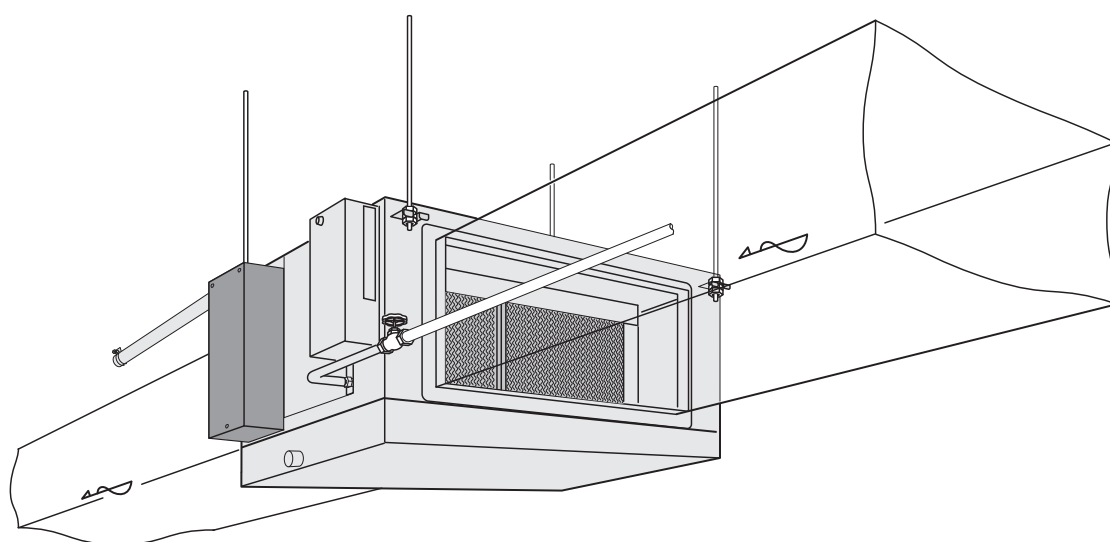


**施工要領書
取扱説明書**

滴下浸透気化式加湿器 / VSB タイプ オプション品

ドレン排水用ポンプ**WM-DUMタイプ【対応加湿器：VSBタイプ】**

このたびはウエットマスター滴下浸透気化式加湿器専用
ドレン排水用ポンプをご採用いただき、まことにありが
とうございます。

**施工者の方へ**

- 加湿器の機能を十分に発揮させ、安全にご使用いただくためには、適切な取付工事が必要です。施工にあたっては必ず本書をお読みいただき、本書の内容に従って施工してください。
- 本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。

加湿器をご使用になるお客様へ

- ご使用前には、必ず本書をよくお読みください。また本書は、製品添付の他の説明書類とともにお客様にて必ず保管してください。

**ウエットマスター株式会社**

目次

■安全上のご注意	P.1
----------	-----

1. 仕様	P.2
-------	-----

1-1. 仕様	P.2
1-2. 梱包内容（付属品）	P.2

2. ドレン排水用ポンプの構造	P.3
-----------------	-----

3. 施工	P.4～7
-------	-------

3-1. 加湿器本体への取付	P.4
3-2. 排水配管	P.6
3-3. 電気配線	P.6
3-4. 試運転	P.7

4. 運転管理	P.8
---------	-----

5. 一般保守要領	P.8
-----------	-----

6. 故障の原因と処置	P.9～10
-------------	--------

6-1. 故障と思われる前に	P.9
6-2. 故障のチェックと処置	P.9
6-3. 故障時の作業が終わったら	P.10
6-4. 保証期間	P.10

■外形図	P.11～12
------	---------

■電気回路図	P.13
--------	------

安全上のご注意

取付および取扱は、本書をよくお読みのうえ、本書の内容に従って確実に行ってください。

ここに示した注意事項は「⚠ 警告」・「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取付や取扱をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを、特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。また「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。取付工事完了後は、試運転を行って異常がないことを確認してください。また、本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。

⚠ 警 告

- 本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。
- 取付は、専門業者に依頼してください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 取付工事は製品添付の説明書類に従って確実に行ってください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 取付は、重さに十分耐える所に確実に行ってください。強度不足や取付工事に不備があると、落下や転倒等による事故の原因になります。
- 製品の大きさ、重さに注意してください。取付には製品を支持する揚重機等を使用し、作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- 高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路の容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- 電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 工事の部材は付属品および指定の部材をご使用ください。寸法や材質等の適合しない部材を使用すると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 水道法、消防法等に規制される部材の取扱については、専門業者に依頼してください。
- 改造は絶対にしないでください。部品交換を含め、修理は当社または専門業者に相談ください。修理に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 保守点検作業は、当社または専門業者に相談いただくか、設備機器に関する知識および作業経験のある方が行ってください。保守点検作業に不備があると、水もれや感電、火災等の原因になります。
- 保守点検作業を行うときは、必ず運転を停止して元電源を切ってください。

⚠ 注 意

- 本製品は、病院空調等、特に清浄度を必要とする空調設備には使用できないことがあります。このような場合は当社までご相談ください。
- 給水の水质は、水道法に規定する水质基準に準ずるものをご使用ください。水质が不適当な場合は、室内の空気の汚れの原因になることがあります。
- 配管工事は、製品添付の説明書類に従って確실히行い、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると、水もれによる事故の原因になります。
- アース接続（D 種接地工事）を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を取り付けてください。漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。不適当な容量のヒューズや針金・銅線等を使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

1.仕 様

1-1.仕 様

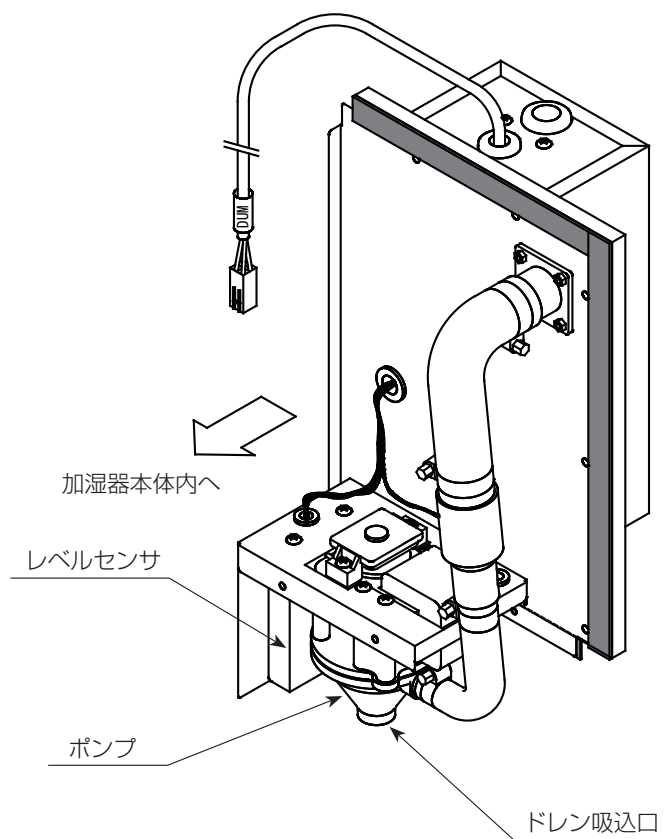
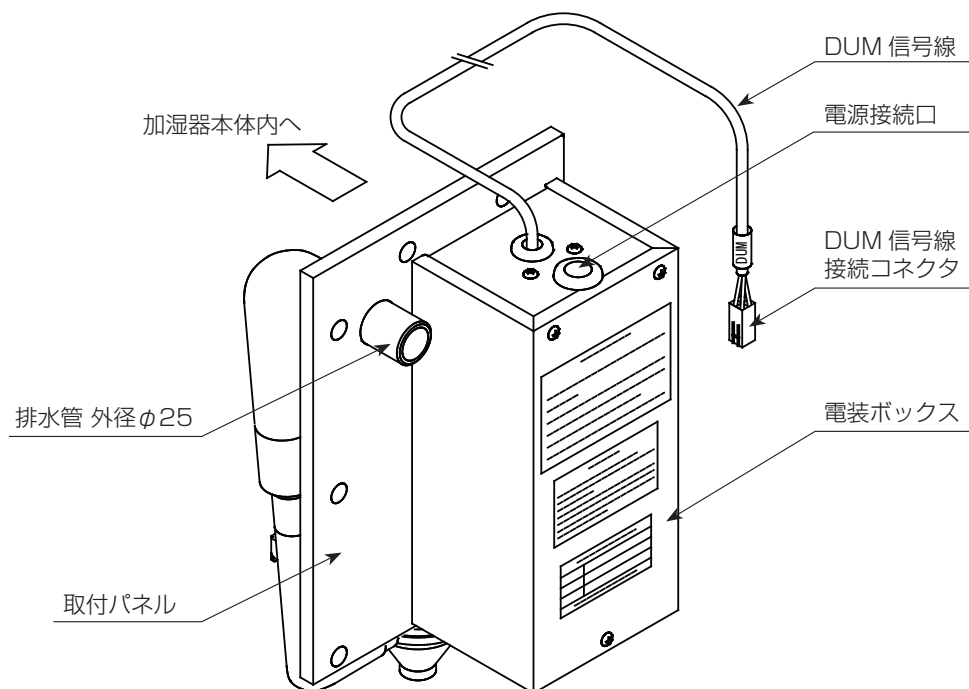
● WM-DUM-SB は、滴下浸透気化式加湿器 VSB タイプ専用のドレン排水用ポンプです。VSB 本体内部ドレンパンのドレン水を揚水して排水位置を高くし、排水配管の先下がり勾配を確保します。

機種・型式		ドレン排水用ポンプ ウエットマスター DUM	
型 番		WM-DUM-SB	WM-DUM-SB2 (VSB3200L/H 専用)
適合加湿器		WM-VSB600L/H、WM-VSB1200L/H、WM-VSB2400L/H	WM-VSB3200L/H
最大排水量		3.2ℓ /min	
定格電源		単相 AC100/200V 兼用 50/60Hz	
定格消費電力		30W	
運転時質量		4.7kg	
運転音		54dB (A) (50/60Hz)	
電気特性	電圧許容範囲	±10% 以内	
	絶縁抵抗	100MΩ以上 (制御回路を除く)	
	絶縁耐圧	AC1500V 1 分間印加異常なし (制御回路を除く)	
使用条件	電装部周囲温湿度	5 ～ 40℃ (凍結しないこと)、80%RH 以下	
	モータ部周囲温度	5 ～ 50℃	
	通水温度	加湿器給水温度に準ずる	
安全保護装置		1) ドレンパン高水位異常検知による加湿器本体の運転停止 2) 本機への給電停止に伴う加湿器本体の運転停止	
客先ご用意		1) 加湿器本体 (VSB) への取付工事は、客先工事となります。 2) 本機への電気工事は、客先工事となります。 3) 本機からの排水配管 (20A 以上) は、客先工事となります。 4) ドレン排水用ポンプの主電源は加湿器本体と別電源とし、漏電ブレーカ (電源元スイッチ) を設け常時 ON となるように配線してください。 5) ドレン排水用ポンプの主電源を加湿器本体と同一電源とする場合は、漏電ブレーカ (電源元スイッチ) を常時 ON としてください。加湿器の運転を長期休止する場合、点検などやむを得ず電源を OFF とする場合には、給水元バルブを閉じるなど万一の場合にも水が流れて漏水事故にならないようにしてください。	
その他		本機は、加湿器本体 (VSB) 内ドレンパンのドレン水の水位をレベルセンサ (電極ピン) により検知して運転・停止します。したがって、純水では使用できません。加湿器への給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用してください。	

1-2. 梱包内容 (付属品)

- 開封後は直ちに内容を確認してください。
- 1) ポンプ本体 1 台
 - 2) 排水ホース (φ 30 × φ 25 L 型、ホースバンド2 個付) 1 セット
 - 3) 加湿器排水栓プラグ (R1/2 SUS) 1 ケ
 - 4) 本体取付ビス (トラス M4 × 8 SUS) 一式
 - 5) ステッカー (ビス結露防止用) 一式
 - 6) コードキーブ (配線固定用) 2 ケ
 - 7) 取扱説明書類 一式

2. ドレン排水用ポンプの構造



3. 施 工

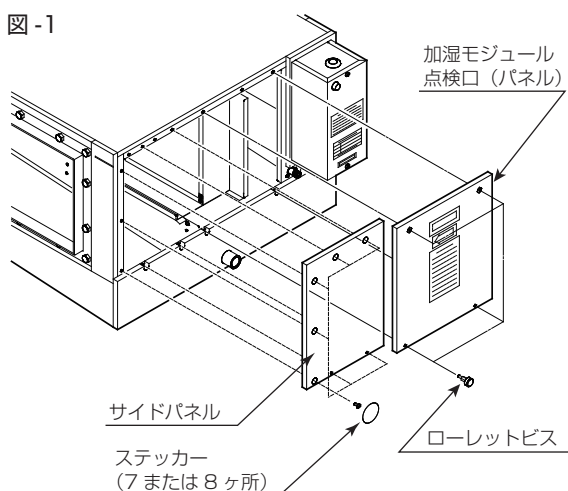
お願い

- ドレン排水用ポンプは、加湿器の排水勾配がとれない場合に、ドレン水をポンプにより揚水して排水します。
- ドレン排水用ポンプは加湿器の運転に関係なく、常に電源が供給されるようにご注意ください。
- ドレン排水用ポンプへの給電が停止することが予測される場合は、安全のため加湿器への給水を停止させるためのスプリングリターンバルブなどの取り付けをご配慮ください。

3-1. 加湿器本体への取付

結露防止のため加湿器本体表面の断熱材の損傷、剥がれなどが生じないようにご注意ください。
加湿器本体へ異物が混入しないようにご注意ください。

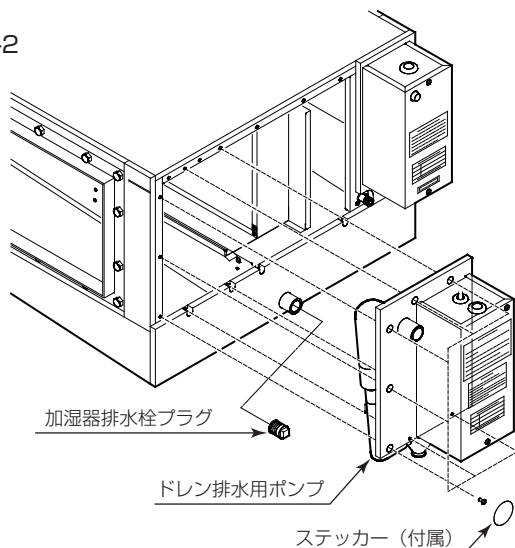
図 -1



【1】加湿器本体の加湿モジュール点検口（パネル）の取り外し

- 加湿器本体の加湿モジュール点検口（パネル）をローレットビス（4ヶ、VSB3200L/H は6ヶ）と共に外します。ローレットビスは紛失しないように注意してください（図 - 1）。
- サイドパネルを外します。ビスはステッカーを剥がしてから外してください（7ヶ所、VSB3200L/H は8ヶ所）。

図 -2



【2】ドレン排水用ポンプの取付

- サイドパネルの代わりにドレン排水用ポンプを取り付けます（図 - 2）。
- 付属のビス（トラス M4 × 8 : 7ヶ、VSB3200L/H は8ヶ）でドレン排水用ポンプを取り付けます。この時、取付パネル下端部は加湿器内側へ差し込むようにしてください（図 - 3）。
- ビス締付後、ビス取付部の穴を付属のステッカー（7ヶ所、VSB3200L/H は8ヶ所）にて塞ぎます。結露防止のために必ず貼付してください。
- 付属の加湿器排水栓プラグ（R1/2）で必ず加湿器本体排水口を塞いでください。
- 加湿器本体排水口を示す「排水」シールは剥がしてください。
- 加湿モジュール点検口（パネル）をローレットビスにて取り付けます。

図 -3

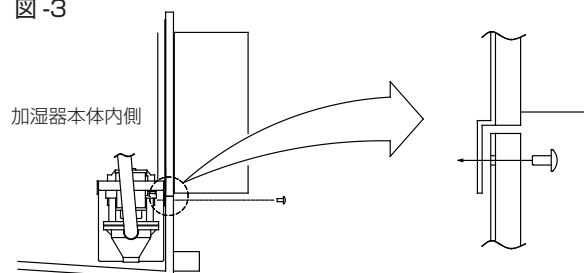
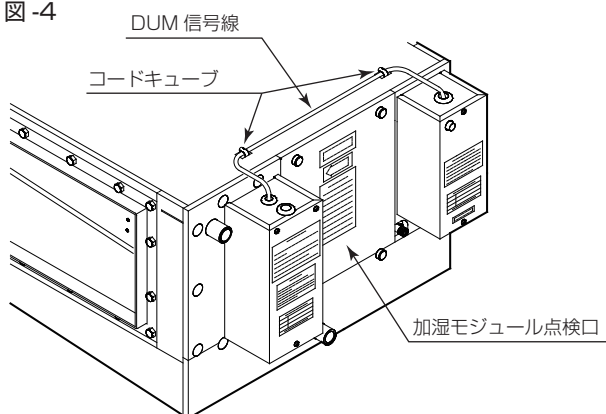


図 -4



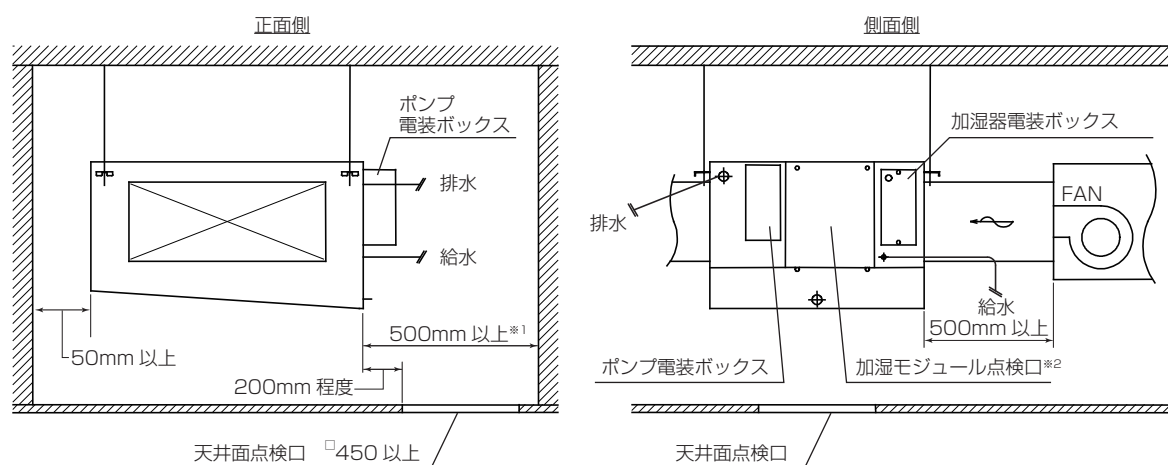
【3】DUM信号線の接続

- ドレン排水用ポンプのDUM信号線を加湿器本体電装ボックス内のDUMコネクタに接続します。接続は、DUMコネクタに差し込んである短絡用コネクタを抜いて、接続します。
- DUM信号線の取り回しは加湿器モジュール点検口を避けるようにしてください。付属のコードキューブ（2ケ）を使用してください（図-4）。

【4】周囲スペースの確保

- 加湿器本体周囲に必ず保守点検ができるスペースを確保してください。加湿器本体の必要周囲スペースを確保するほか、ポンプからの排水配管の下り勾配に支障がないようにご注意ください（図-5）。
- 加湿器本体取付位置の天井面（加湿器本体の配管側）には□450以上の点検口を設置してください。
- ドレン排水用ポンプ排水管に配管の荷重がかからないようにご注意ください。※

図 -5



※ 1：加湿モジュールを引き出すために必要です。

※ 2：加湿モジュール点検口の前には後々の保守作業のため、給水配管や電気配線、梁などがこないように配慮してください。

3. 施 工

3-2. 排水配管

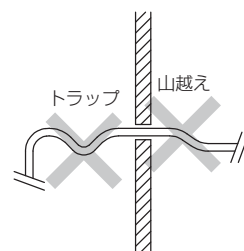


注意

●配管は必ず保温してください。保温しないと結露による漏水の原因になります。

- ドレン排水用ポンプ排水口からの排水配管は必ず 1/100 以上の先下がり勾配・大気開放とし、排水がスムーズに流れるよう配管してください。
- 排水配管は 20 A 以上とし、排水主管までは各加湿器ごとに単独に配管してください。
- 排水配管途中に山越えやトラップを作らないように施工してください（図-6）。排水不良の原因となります。また、配管途中にエア抜きは設けないでください。
- 排水ホースの内径はφ 25 です。ポンプの排水管と客先ご用意の排水配管との間を付属品の排水ホースで接続します。ホースバンドの締付トルクは 1.5N・m 程度としてください。
- 吐出口に排水ホースを接続する際は、排水ホースに有機溶剤（接着剤など）は使用しないでください。吐出口が劣化し、不具合に至るおそれがあります。
- ポンプの排水管および排水ホースに排水配管の荷重がかからないように施工してください。
- 配管に結露が生じないよう、必ず保温してください。
- 排水配管の取り回しは必ず加湿器本体周囲スペースを確保できるようにしてください。
- 加湿器本体の排水口は、ドレン排水用ポンプ付属の加湿器排水栓プラグにて塞いでください。

図-6 排水配管の禁止施工例



3-3. 電気配線



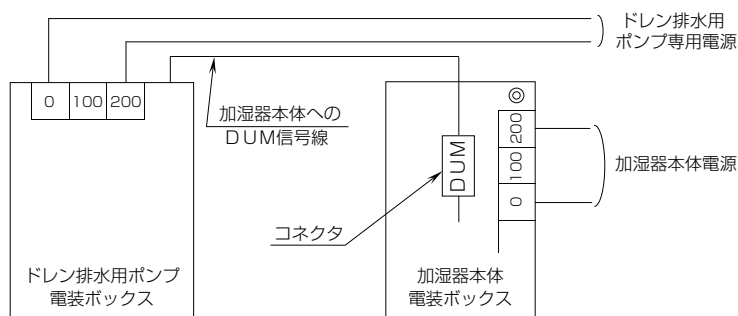
警告

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」に従って施工してください。電気回路の容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- 各配線の接続は確実にを行い、接続部にケーブルの外力がかからないように確実に固定してください。施工不備があると、感電、火災の原因になります。

- 電気配線は客先ご用意となります。ドレン排水用ポンプ電源として加湿器とは別系統の専用回路を使用し、加湿器の運転に関係なく常時 ON となるようにしてください。
- ドレン排水用ポンプの元電源には必ず漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を設けてください。漏電事故防止および保守点検作業時の安全のため必要です。
- ドレン排水用ポンプの主電源を加湿器本体と同一電源とする場合においても、ドレン排水用ポンプへの電源は常に供給されるように漏電ブレーカ（電源元スイッチ）は常時 ON としてください。
- 現場の指示等をよくご確認ください。確実な電気工事をお願いします。配線にあたっては、図-7 および P.13「電気回路図」を参照してください。
- 加湿器本体への DUM 信号線は必ず接続してください。加湿器本体側電装ボックス内の DUM コネクタには、短絡用コネクタが差し込んであります。短絡用コネクタを抜いてから、DUM 信号線を接続します。接続しないと正常な運転ができません。
- 加湿器の配線は加湿器本体の取扱説明書に従ってください。

図-7 電気配線要領

（本図は供給電源を AC200V 50/60Hz の場合で表しています）



3-4. 試運転

施工後は、以下の手順で試運転を実施し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- 試運転前には下記の諸点を必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。試運転は加湿器本体の試運転と合わせて行ってください（加湿器本体の取扱説明書 P.10「4-5. 試運転」参照）。

- ☐ 加湿器排水栓プラグで加湿器本体の排水口が確実に塞がれていること
- ☐ 排水ホースはホースバンドで確実に接続され、排水配管は 1/100 以上の先下がり勾配が確保され流れの障害がないこと
- ☐ 各電気配線が正しく接続・固定されていること

- ドレン排水用ポンプ元電源の漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を ON にします。
- 加湿器本体の試運転を開始します。
- ドレン排水用ポンプはドレンパン水位が（ドレンパン底より）35 ～ 40mm に達すると運転を開始します。ポンプは加湿器の発停に関係なく、ドレンパンの水位を検知して運転します。

4. 運転管理



警告

●本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。誤った取扱をした場合には、水もれや感電等の事故の原因になります。



注意

●加湿器のドレンをポンプにより排水しますから、電気点検等による停電によりポンプの運転が停止するときには、必ず事前に加湿器への給水サービス弁を閉めてください。万一、給水用電磁弁が故障（リーク）を生じた場合に、漏水のおそれがあります。

- ドレン排水用ポンプは、ポンプの水槽水位により発停しますので、漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を操作する必要はありません。必ず常時電源を供給してください。
加湿器の運転を長期休止する場合は、必ず事前に給水バルブを閉じ、ヒューミディスタットの設定を下げるなどして加湿器が運転しないようにしてください。
また、電気点検など停電によりポンプの運転が停止する場合も、必ず事前に給水サービス弁を閉め、加湿器へ給水されないようにしてください。本ポンプへ給電されない状態で加湿器に給水された場合、万一、給水用電磁弁が故障（リーク）すると、漏水に至るおそれがあります。
- ドレン排水用ポンプの電源が OFF となった場合には、加湿器本体の運転も停止します。
- 運転中は定期的に巡回点検し、配管各部からの水もれの無いこと、その他異常の無いことを確認してください。なお、異常のみられる場合は、加湿器の運転を直ちに停止し、加湿器への給水サービス弁を閉めて P.9「6. 故障の原因と処置」を参照して対処してください。
- ドレン排水用ポンプ本体には、ドレンパン高水位用センサが取り付けられています。ドレンパンの高水位を検知した場合は加湿器本体の電装ボックスにある異常ランプ（赤）を点灯、外部信号（異常）を出力します。
この場合、P.9「6. 故障の原因と処置」を参照して対処してください。

5. 一般保守要領



警告

- 高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- 保守点検作業、部品交換を含む修理は、当社または専門業者にご相談いただくか、設備機器に関する知識および作業経験のある方が行ってください。作業に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 保守点検作業を行う前には、本書の内容に従って運転を停止し、必ず元電源を切ってください。通電したまま作業すると、感電等の事故の原因になります。

- 当社では、機器の維持管理に便利な定期点検契約を設けております。加湿器の定期点検から部品交換まで、専従スタッフによる万全のアフターサービスをご提供いたします。ぜひご利用ください。
- 加湿器本体の取扱説明書 P.12「6-2. 一般保守項目」の保守点検作業とあわせて下表の作業を行ってください。

No	作業時期	作業項目と内容
1	シーズンイン時または加湿器本体のドレンパン掃除の時 (汚れの状況により周期を早める)	ドレン排水用ポンプの水槽内の掃除、電装部点検

お願い

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則」（略称：建築物衛生法、2003 年 4 月施行）では、加湿装置は使用開始時および使用期間中の 1 ヶ月以内ごとに 1 回の定期点検（必要に応じて清掃）、排水受け（ドレン受け等）を備えるものは同じく 1 ヶ月以内ごとに 1 回の定期点検（必要に応じて清掃）、1 年に 1 回の定期的な清掃を求めています。準拠した対応をお願いします。

6. 故障の原因と処置



警告

- 部品交換を含め、修理は当社または専門業者にご相談ください。修理に不備があると、水もれや感電、火災等の原品因になります。
- 改造は絶対にしないでください。改造すると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。

6-1. 故障と思われる前に

- 正常な動作を行わない場合でも、必ずしも故障が発生しているとは限りません。故障のチェックを行う前に、まず、下記の諸点をチェックしてください。

- ☐ ドレン排水用ポンプへの電源が供給されていること
- ☐ 加湿器本体が正常に運転していること
- ☐ ドレンパンの水位が運転水位に達していること（運転水位高さはドレンパン底より約 35 ～ 40mm）

- 上記に異常がない場合には、下記「6- 2. 故障のチェックと処置」を参照してチェックおよび処置を行ってください。

6-2. 故障のチェックと処置

- 下記一覧表を参照して、故障のチェックと処置を行ってください。
- 表内で  印の原因に該当する場合には、当社宛お問い合わせください（サービスコール）。

【故障のチェックと処置 / 一覧表】

※ポンプへ電源が供給されていない場合には加湿器本体の運転も停止します。

状 態	故障原因		処 置
①運転しない	※	正しい電源が供給されていない	確認し修正する
	※	漏電ブレーカ（電源元スイッチ）が OFF	ON にする
		ドレンパンの水位が運転水位に達していない	——
②加湿器が長期停止しているのにポンプは停止しない		加湿器の給水用電磁弁不良により給水が停止しない	給水サービス弁を閉め、サービスコール
③異常ランプ点灯（ドレンパン高水位検知）	下記「④漏水」項目を参照 ●異常ランプが点灯して運転を停止している場合には原因を調べて処置した上で、ドレンパン排水用ポンプ⇒加湿器本体の順に漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を一度 OFF にしてリセットします。		
④漏水		排水配管の施工不良	確認し修正する
		ドレン排水用ポンプの電源が加湿器と同一電源で、漏電ブレーカ（電源元スイッチ）が OFF、または停電により電源が供給されていない状態で、加湿器の吸水用電磁弁不良により給水が停止しない	給水サービス弁を閉め、サービスコール

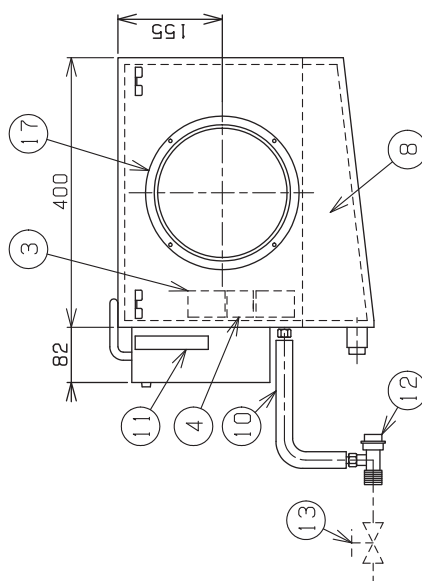
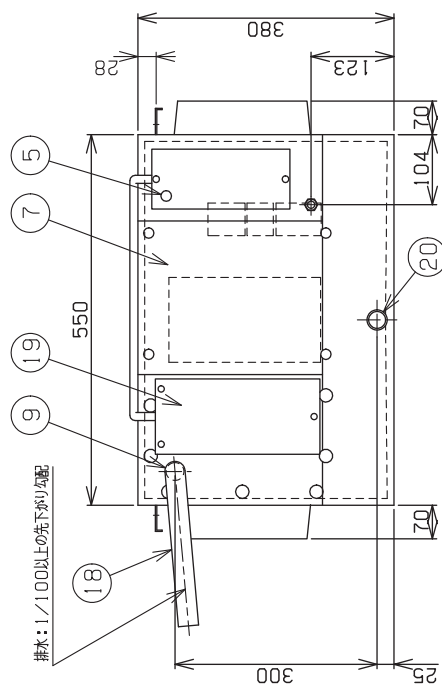
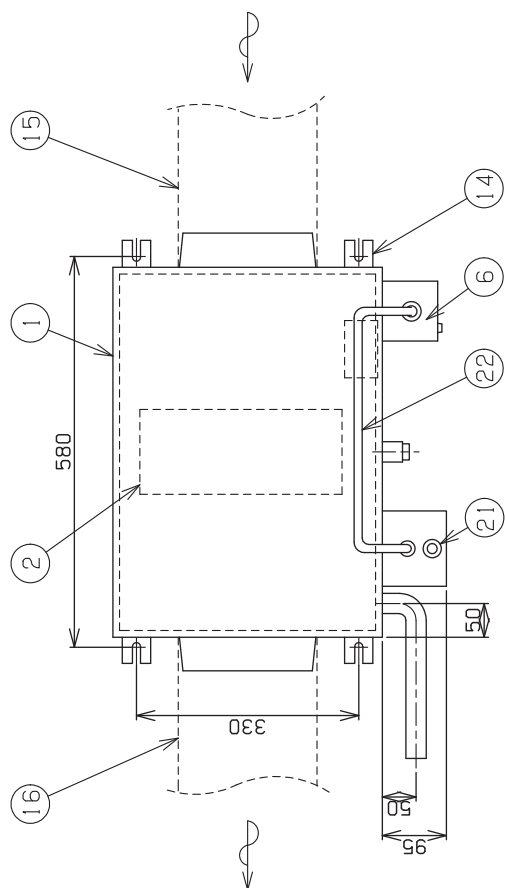
6. 故障の原因と処置

6-3. 故障時の作業が終わったら

- 故障のチェックとその処置が終わったら必ず運転確認を行い、正常な動作および配管各部からの水もれのないことを確認してください。
- 不都合な点があれば必ず修正し、なおも正常な動作を行わない場合は当社宛お問い合わせください

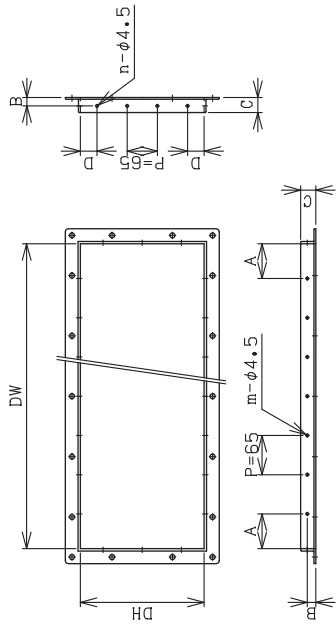
6-4. 保証期間

- 当製品の保証期間は、銘板表示の製造年度の翌年末までです。取扱説明書および本体貼付ラベル等の要領に従った、正常な使用状態で故障した場合には無料修理いたします。
- 保証期間内においても、使用条件外でのご使用による故障、選定および取付の不良による故障、改造による故障、特殊用途でのご使用による故障などにつきましては、有料修理となります。
また、取扱説明書に交換周期の明示されている部品の交換、作業時期の明示されている保守点検作業につきましては、保証期間内においても有料となる場合があります。



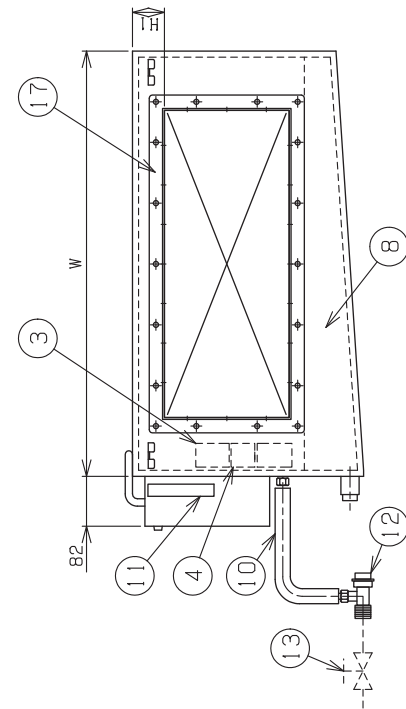
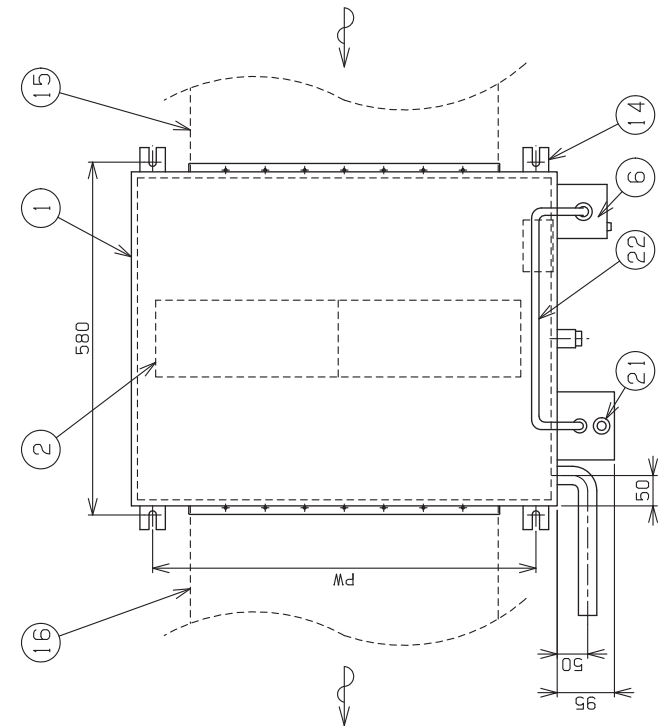
②②	DUM信号線	4心キャブタイヤコード
②①	DUM電源接続口	
②①	排水プラグ	R1/2 SUS
①⑨	ドレン排水用ポンプ	WM-DUM-SB
①⑧	排水ホース	φ30×φ25 L型
①⑦	合フランジ	φ200用(差込長さ:80)
①⑥	接続ダクト	客先ご用意
①⑤	接続ダクト	客先ご用意
①④	本体取付金具	M10用
①③	給水サービス弁	客先ご用意
①②	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
①①	加温器電源接続口	
①①	給水軟銅管	φ6.35×0.4mm 断熱材付
①①	排水口	φ25 ABS
①①	ドレンパン	
①①	加温モジュール点検口	
①①	電装ボックス	
①①	異常ランプ(赤)	ドレンパン高水位異常
①①	減圧弁	
①①	給水用電磁弁	AC100V
①①	加温モジュール	
①①	加温器本体	表面断熱材付
番号	部品名称	仕様

図面名称	NAME	ジェットマスター	VSB
		WM-VSB600L/H	
ドレン排水用ポンプ付 本体外形図			
葉別	PAGE	/	
図番	DWG. No.	M U J - 0 6 A 4 - 0 1	



型番	DW	DH	A	B	C	D	m	n
WM-VSB1200L/H	505	205	57.5	11	25	37.5	7	3
WM-VSB2400L/H	1005	255	47.5	13.5	30	30	15	4
WM-VSB3200L/H								

※合フランジ各部の寸法は関東空調工業会の規格に準拠しています。



排水：1/100以上の矢下がり加配

型番	H	W	PW	H1	H2	ダクトサイズ (呼び)
WM-VSB1200L/H	380	700	630	48	300	200X500
WM-VSB2400L/H	455	1300	1230	73	375	200X1000
WM-VSB3200L/H						250X1000

※加湿器本体とドレン排水用ポンプは別梱包となります。

番号	部品名称	仕様
22	DUM信号線	4心キャブタイヤコード
21	DUM電源接続口	R1/2 SUS
20	排水フラグ	WM-DUM-SB/SB2
19	ドレン排水用ポンプ	φ30×φ25 L型
18	排水ホース	φ30×φ25 L型
17	合フランジ	客先ご用意
16	接続ダクト	客先ご用意
15	接続ダクト	M10用
14	本体取付金具	客先ご用意
13	給水サービス弁	T型 #100 R1/2
12	給水ストレーナ	φ6.35×0.4m 断熱材付
11	加湿器電源接続口	φ25 ABS
10	給水軟銅管	φ25 ABS
9	排水口	ドレンパン
8	ドレンパン	加湿モジュール点検口
7	加湿モジュール点検口	電装ボックス
6	電装ボックス	異常ランプ (赤)
5	異常ランプ (赤)	減圧弁
4	減圧弁	給水用電磁弁
3	給水用電磁弁	加湿モジュール
2	加湿モジュール	加湿器本体
1	加湿器本体	表面断熱材付

図面名称 NAME **ウェットマスター** VSB

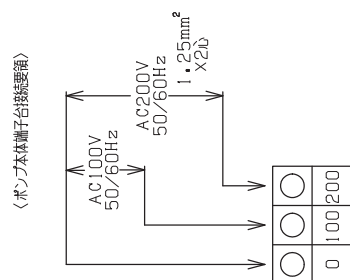
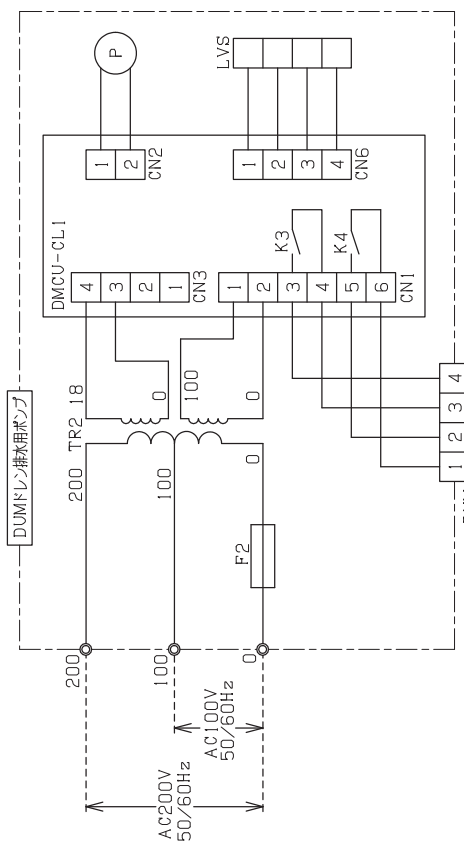
WM-VSB1200L/H ~ 3200L/H

ドレン排水用ポンプ付 本体外形図

葉別 PAGE /

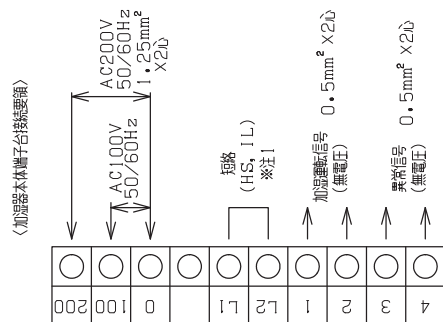
ウェットマスター株式会社
WETMASTER CO., LTD.

図番 DWG. No. **M U J - 0 6 A 3 - 0 2**

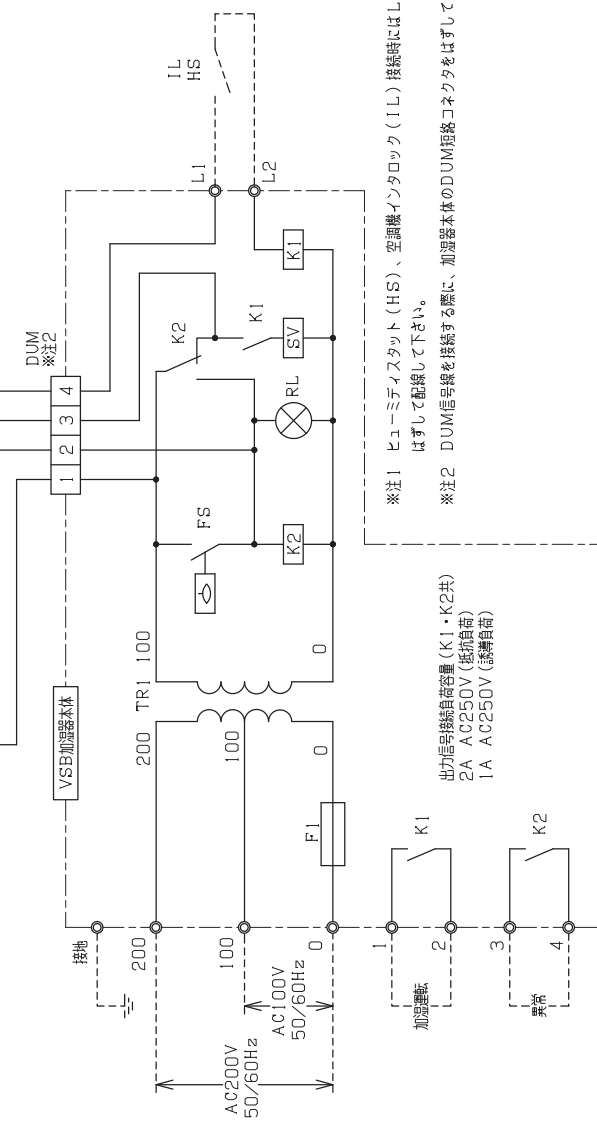


- ・主電源は加湿器と別電源とし、常時ONになるように配線してください。

・端子台ネジサイズはM3



・端子台ネジサイズはM3



※接地はD種接地工事を行ってください。

※ ドレン排水用ポンプの主電源は加湿器本体と別電源とし、常時ONとなるように配線してください。

※ ドレン排水用ポンプの主電源を加温器本体と同一電源とする場合は、漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を常時ONとしてください。

加湿器の運転を長期休止する場合、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水元バルブを閉じるなど万一の場合にも水が流れて漏水事故にならないようにしてください。

17	K4	高水圧異常信号	
16	K3	運転信号	
15	DUM	DUM信号線終結コネクタ	4P
14	CN1~CN6	基板上コネクタ	
13	LVS	レベルセンサ	
12	P	ポンプ	AC100V モールドコイル
11	DMCU-CL1	制御基板	
10	1L	空調機インタロック	客先ご用意
9	HS	ヒューミティスタット	客先ご用意
8	SV	給水用電磁弁	AC100V
7	RL	ドレンパン高水位異常ランプ	AC100V (赤)
6	K2	異常信号リレー	AC100V
5	K1	加濕運転信号リレー	AC100V
4	FS	フロートスイッチ	
3	TR1, 2	トランス	
2	F2	ヒューズ	250V1A
1	F1	ヒューズ	250V1A
番号	記号	部品名称	仕様

図面名称 NAME ウェットマスター VSB

WM-VSB600L/H ~ 3200L/H

ドレン排水用ポンプ付電気回路図

葉別 PAGE

ウエットマスター株式会社
WETMASTER CO., LTD

图 番 DWG. No.

M U J - 0 6 B 5 - 0 1



ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●アフターサービスのお問い合わせは、保守管理グループ直通 TEL.03-3954-1110

大 阪 支 店 〒540-0024 大阪市中央区南新町 1-1-2 タイムスビル TEL.06-4790-6606

名古屋支店 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-4ハートヒルズ千種 TEL.052-745-3277

仙台営業所 〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央 5-17-12 TEL.022-772-8121

福岡営業所 〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10 TEL.092-471-0371

●業務用・産業用各種加湿器

●流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

ISO 14001
BUREAU VERITAS
Certification



東京本社
ISO14001:2004
認証取得



東京本社
ISO9001:2008
認証取得